



今後10年間の政策の方向性

厳しい財政状況の中、社会資本の老朽化や劣化を原因とする事故を防ぎ、県民の安全・安心な生活を守るとともに、メンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減、平準化を図るため、持続可能で効率的なメンテナンスを推進します。

目指す将来像と現状のギャップと課題

1 加速する社会資本の老朽化

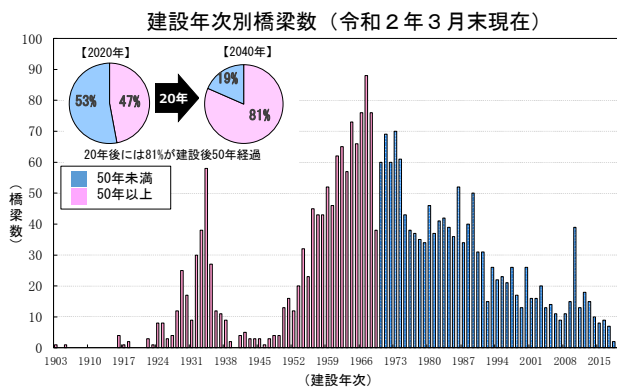
群馬県では、道路、河川、公園等、膨大かつ多種多様な社会資本を管理しています。これらの社会資本は、県民の暮らしや社会経済活動を支える重要な役割を果たしています。

種別	施設（規模：令和元年度末）
道路	道路（288路線・実延長3,350km）、橋梁（3,665橋）、トンネル（64箇所）、横断歩道橋（120橋）等
河川	河川（3水系・6湖沼・428河川）、流路延長（2,712km）、ダム（7施設）、排水機場（7施設）、堰（8施設）、水門・樋門・樋管（11施設）、浄化施設（2施設）、除塵機（1施設）、堤防（413km）
砂防	砂防堰堤（1,170基）、床固工（964基）、渓流保全工（1,402箇所）、地すべり防止施設（67箇所）、急傾斜地崩壊防止施設（610箇所）、雪崩防止施設（6箇所）
公園	遊具（10施設）、建築物（24施設）
下水	処理場（6処理場）、管渠（244km）、ポンプ場（9施設）
住宅	県営住宅（10,104戸）

高度経済成長期以降に整備した大量の社会資本ストックの老朽化により維持管理・更新費用の増大、老朽化や劣化に起因する事故の発生が懸念されています。

例えば、今後10年で建設後50年以上経過する道路橋（橋長2m以上）の割合は、約47%（令和元年度末）から約61%（令和11年度末）となり、さらに20年後には、約81%（令和21年度末）と、加速度的に増加します。

今後も、社会資本を長期にわたって安全に使用し続けるために、維持管理・更新費用のトータルコストの中長期的な縮減と平準化を図っていくことが必要です。



2 社会資本ストックの増加による日常点検・維持管理更新業務の増大

社会資本整備の推進により、県民生活の安全・安心の確保や利便性が向上する一方で、パトロール、清掃、除草、除雪等の日常的な維持管理に係る業務量や予算額の増大が懸念されています。



県民の声

- 既存施設の老朽化が進んでおり、将来の安全性と維持管理費の増大が心配。
- 河川内における立木の繁茂や堆積土による洪水被害が心配。
- 防草対策等により、維持管理におけるコスト縮減に取り組んでほしい。
- 大型車の通行が多く、舗装の損傷による振動が激しく困っている。
- 快適な住環境を維持するためには、河川除草が必要。

# 施策1 予防保全に基づく長寿命化

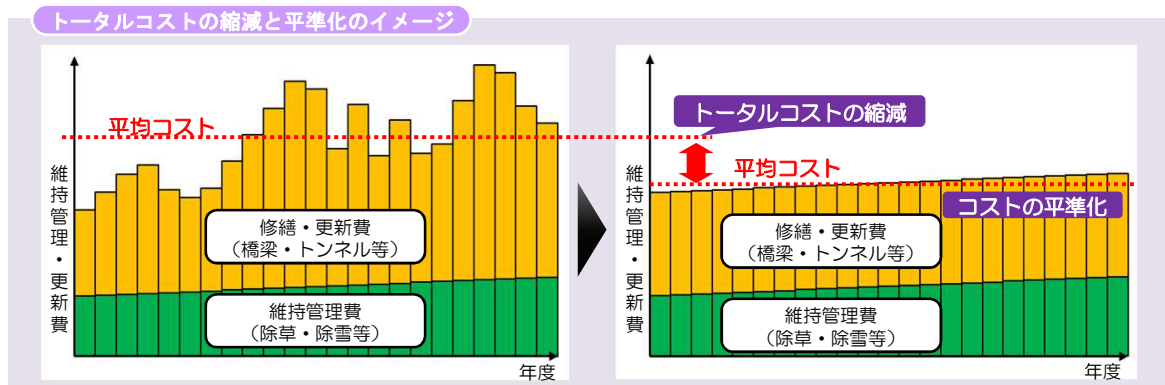
## 取組1 計画的な長寿命化の推進

社会資本を長期にわたって安全に使用し続けるために、損傷がひどくなる前に、予防的な補修を計画的に実施し施設の長寿命化を図るため、長寿命化計画に基づく戦略的な点検・維持管理・更新を推進します。

計画名	策定年度	計画期間	対象施設	施設規模
群馬県道路施設長寿命化計画	H30	30年間	横断歩道橋	120橋
			トンネル	64箇所
			舗装（自転車道を除く）	3,100km
			道路照明	10,000灯
			自転車道橋梁	32橋
			地下歩道	22箇所
			カルバート	24箇所
			防雪施設	64箇所
			防災施設 （グラウンドアンカー工、落石防護工、落石予防工）	4,599箇所
			土工構造物 擁壁（路側、土留）	5,658箇所
			法面（切土、法枠、コンクリート吹付、盛土）	
			張出歩道	380箇所
			門型標識	11箇所
			大型標識	3,373箇所
情報板	163基			
消融雪施設	51箇所			
群馬県橋梁長寿命化計画	R1	100年間	道路橋	3,665橋
河川構造物長寿命化計画	R2	50年間	排水機場	7施設
			水門・堰等	22施設
			県営ダム	7施設
			堤防	413km
群馬県砂防関係施設長寿命化計画	H29	50年間	砂防設備（砂防堰堤・床固工・渓流保全工）	3,536施設
			地すべり防止施設	67箇所
			急傾斜地崩壊防止施設	610箇所
			雪崩防止施設	6箇所
都市公園長寿命化計画	H29	30年間	遊具	10施設
			建築物	24施設
群馬県下水道施設長寿命化計画	H30	50年間	処理場	6施設
			管渠	244km
			ポンプ場	9施設
群馬県営住宅長寿命化計画	H29	10年間	県営住宅	10,123戸
群馬ヘリポート長寿命化計画	H29	30年間	ヘリポート	1施設

## 取組2 トータルコストの縮減と平準化

長寿命化計画に基づき、予防保全型の維持管理・更新を推進することで、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストを縮減することが可能となります。また、維持管理・更新に係る費用を計画的に投資することで、年当たりのコストの平準化を図ります。





群馬県が  
こんなに  
良くなるよ!

## 社会資本の機能を維持し、安全で快適な生活基盤を提供!!

・長寿命化計画に基づいた計画的かつ効率的な社会資本の維持管理・更新を実施

### 政策の目的を達成するための主な指標

【取組指標】 政策の目的の達成に向け、具体的な取組の進捗状況を明確に把握するための指標

取組指標	現状値	目標値
長寿命化計画に基づく横断歩道橋補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)
長寿命化計画に基づくトンネル補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)
長寿命化計画に基づく舗装補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)
長寿命化計画に基づく道路橋補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)
長寿命化計画に基づく河川構造物補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)
長寿命化計画に基づく砂防関係施設補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)
長寿命化計画に基づく都市公園(遊具・建築物)補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)
長寿命化計画に基づく下水道施設補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)
長寿命化計画に基づく県営住宅補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (令和6年度末)

#### 【上記指標の説明】

長寿命化計画に基づき、令和2年度から令和6年度の5年間で実施すべき補修箇所数のうち、補修済みの箇所数の割合

### SDGsの関連目標



#### 【関連ターゲット】

11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。



#### 【関連ターゲット】

13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

## 施策2 効率的な維持管理

### 取組1 行政が実施する維持管理

道路のパトロールや河川巡視などの日常点検を実施し、社会資本の異常箇所の早期発見に努めます。また、安全な道路空間を確保するための伐木や除雪、河川の流下能力を確保するための堆積土除去や伐木を適時適切に行うなど、社会資本の機能の維持・回復に努めます。

さらには、効率的な点検情報管理に向け、ICT※技術などの導入の検討を進めるとともに、ドローンや航空写真を有効活用した効率的な維持管理にも取り組んでいきます。

日常点検



道路パトロール



河川巡視

維持管理



道路除草



道路除雪

全国初

ICT技術を活用した道路除雪の試行

～【全国初】MCグレーダー（GNSS）※による道路除雪の実施～

施工者の声

降雪で縁石等がわからないので、損傷やかき残しが心配



除雪ブレード（手動制御）

従来の道路除雪のイメージ

施工者の声

路面や構造物を損傷させることなく安心して運転できるし、運転手の負担も軽減



除雪ブレード（自動制御）

ICT技術を活用した道路除雪のイメージ

ドローンを活用した河川巡視



ドローン操作状況



ドローンにより撮影した画像

### 取組2 地域住民主体の維持管理

不法投棄の抑制、道路や河川の愛護思想の普及啓発及び地域活動の活性化のため、自治会や学校など、地域の道路や河川等の愛護活動を実施している県民の皆さんの活動を支援します。

愛護活動の実施状況



自治会による河川除草



自治会による道路除草



小学校による道路除草

※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

## 取組3 民間の力を活用した維持管理

多様化する県民ニーズに、より効率的・効果的に対応するため、公共施設の管理に民間の資金とノウハウを活用し、県民サービスの向上を図るとともに、維持管理コストの縮減等に取り組めます。

### (1) 指定管理者制度\*の導入

県が管理する施設について、県が指定した民間事業者等（指定管理者）が施設の管理主体として、施設の使用許可等の権限を含め、公共施設の管理を代行する「指定管理者制度」を導入しています。

県土整備部分野においては、県立都市公園（敷島公園、群馬の森、金山総合公園、観音山ファミリーパーク、多々良沼公園）と群馬ヘリポートで導入しています。

指定管理者制度導入済の県立都市公園



敷島公園（前橋市）



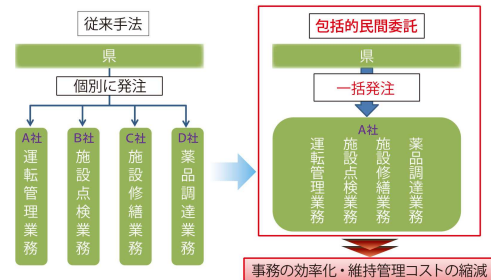
金山総合公園（太田市）

### (2) 包括的民間委託\*の導入

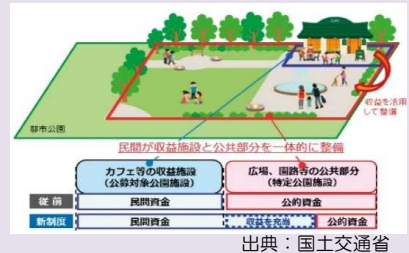
これまで、個別に行っていた施設の点検・修繕や運転管理などの業務を、包括的に委託することにより、受託した民間事業者の創意工夫やノウハウを活かしながら、効率的な運営を図る「包括的民間委託」を導入しています。

県土整備分野においては、オリ根、県央、桐生、西邑楽の各水質浄化センターで導入しています。

包括的民間委託のイメージ（水質浄化センター）



Park-PFIのイメージ



敷島公園の事例（スターバックスコーヒー）



## 10年後の姿（取組による効果）



群馬県が  
こんなに  
良くなるよ！

### 官民協働で安全で快適な生活基盤を維持!!

- ・ICT\*技術の導入や地域住民との協働
- ・民間の資金やノウハウの活用

## SDGsの関連目標



### 【関連ターゲット】

11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。



### 【関連ターゲット】

13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

\*用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。